

NPO 法人
世界俳句協会
定款



2010年3月31日改定

●財政

会員年会費（別表）。世界俳句協会基金。

●創立者

ジム・ケイシャン（米国）

夏石番矢（日本）

ディミタール・アナキエフ（スロヴェニア）

●役員

ディレクター 夏石番矢（日本）

会計 鎌倉佐弓（日本）

ホームページ・ディレクター 清水国治（日本）

国内渉外係 秋尾敏（日本）

顧問 金子兜太（日本）

ウラディミール・デヴィデ（クロアチア）

カジミエロ・ド・プリトー（ポルトガル）

清水国治（日本）

カイ・ファルクマン（スウェーデン）

●名誉会員

アンドレス・エヒン（エストニア） ロン・リデル（ニュージーランド） ジム・ケイシャン（米国） オ
ルランド・ゴンザレス・エステヴァ（キューバ） アレクサンダル・プロコピエフ（マケドニア） モハ
メッド・ベニス（モロッコ） ラウール・エナオ（コロンビア） コルネリウス・プラテリス（リトアニ
ア） レオンス・ブリエディス（ラトヴィア） 蔡天新（中国） 八木忠栄（日本） ドラゴ・シュタン
プク（クロアチア）

●協賛団体

金十証券株式会社

●会員数

世界各国に約200名。

●事務所

世界俳句協会（WHA）

〒354-0026 埼玉県富士見市鶴瀬西3-16-11 夏石番矢方

電話・ファックス 049-252-9823 Eメール haikubanya@mub.biglobe.ne.jp

●公式ホームページ

<http://www.worldhaiku.net/>

（2010年3月31日現在、“poetry”に、日・米・豪・英・仏・独・伊・オランダ・ポルトガル・ギリシ
ア・スロヴェニア・アイルランド・ユーゴスラビア・セルビア・クロアチア・イラン・ブラジルなどの約2

00俳人のデータが掲載されている)

●使命

1. それぞれの国や地域の文化的価値観の理解を失うことなしに、すぐれた俳句作品の国際的基準を、認識し奨励すること。
2. これらの基準や価値観を味わい理解するための俳句教育システムを構成し実行すること。
3. 多くの異なる人種・宗教・性・国・経済・政治についての背景を持つ俳人が、先入観や検閲なしに出版できる場を提供すること。
4. 俳句の母胎である日本語を尊重し、英語を現在の国際的言語として使うことを認めながら、俳句を世界で共有するようながすために、すべての言語での俳句創作と俳句翻訳の実践を促進すること。
5. 全世界の俳句界を通じての共同体感覚を生み出し促進するために、会合・コンテスト・出版・通信などの活動を行うこと。
6. それぞれの俳句共同体単独では収集不可能な、書籍・知識・資源を供給するリソースセンターとして活動すること。

●規約

1. 上記使命を果たすために、世界俳句協会を設ける。
2. 日本に世界俳句協会事務局を置く。
3. 最高責任者はディレクターと呼ばれ、日本、南北アメリカ、ヨーロッパなどから3人以内が指名される。
4. 世界俳句協会大会は2年に1回開かれ、本大会では、世界俳句に関する諸行事が催される。
5. 世界俳句協会大会では、上述のディレクターが承認され、その他の役員も選出される。ディレクターにより任命された世界俳句協会大会実行委員会委員長は、適宜、必要な委員を任命して実行委員会をつくり、世界俳句協会大会の運営にあたる。
6. 本協会の会費は、各国の物価に応じて決める。本協会の会員は、会費を毎年支払わなければならない。
7. 本協会発展のための助言を受けるため、顧問を設けることができる。
8. 本協会の活動のため、各支部や各部を設けることができる。

●会員年会費（年刊出版『世界俳句』講読費・投句費を含む）

日本	6,000円
北米	35米ドル
南米	10米ドル
西欧	35ユーロ
東欧・ロシア	13ユーロ
アジア（日本以外）	10米ドル
オセアニア	20米ドル
アフリカ・中東	10米ドル

●世界俳句協会銀行口座

三菱東京UFJ銀行 池袋東口支店（店番 173） 普通預金 1778074

名義 世界俳句協会 会計 乾 佐弓

●沿革とこれまでの活動

2000年9月1日～3日、スロヴェニア、トルミンにて世界俳句協会創立大会開催、11か国62人参加。

大会の一部が、NHKテレビ番組「HAIKU〜バルカンの戦火をこえて」（NHK 総合、2000年12月30日放映）で紹介される。

最初のロゴマークは、ディミタール・アナキエフ作成。創立大会から2002年12月まで使用。



2000年9月1日 トルミン渓谷吟



2000年9月3日 トルミン市長会議 討議

2000年10月、吟遊社より、世界俳句協会創立大会を記念して、国際俳句アンソロジー、夏石番矢編『透明な流れ Transparent Current』刊行。

2000年12月、ジム・ケイジャン（米国）、夏石番矢（日本）、ディミタール・アナキエフ（スロヴェニア）により、世界俳句協会（The World Haiku Association、略称WHA）を正式に創立する。

2000年12月、米国、レッドムーンプレス刊の、多言語版俳句選集『A Dozen Tongues 2000』に、編集・翻訳協力する。利益は、ユニセフに寄付。

2001年6月21日、世界俳句協会の公式ホームページが立ち上がる。<http://www.epiphanous.org/wha/>

2001年12月、米国、レッドムーンプレス刊の、多言語版俳句選集『A Dozen Tongues 2001』に、編集・翻訳協力する。利益は、The Nature Conservancyに寄付。

2002年11月、公式ホームページの管理を秋尾敏が担当し、ドメイン名 <http://www.worldhaiku.net/> を取得。

2003年1月、新ロゴマークを清水国治が作成。

2003年10月1日、『第二回世界俳句協会大会プログラム・俳句集』（全48ページ）刊行。

2003年10月3日～5日、奈良県天理市にて、第二回世界俳句協会大会を開催し、13か国約100人が参加。



2003年10月4日 シンポジウム



2003年10月5日 天理図書館玄関

2003年10月、第二回世界俳句協会大会の様子が、NHK ワールド TV、NHK 衛星第一などの「Weekend Japanology」で、放映される。

2004年11月、年間出版『世界俳句2005 第1号』（多言語、全272ページ、西田書店）を創刊。

2005年5月、WHAジュニア俳句コンテスト2005開催。

2005年7月15～18日、ブルガリアのソフィアとプロヴディフで、第三回世界俳句協会大会開催。13か国約150人参加。



2005年7月16日 ソフィア 講演



2005年7月18日 プロヴディフ 俳句朗読

2005年12月8～10日、日欧現代詩フェスティバル in 東京を後援。

2005年12月、年刊出版『世界俳句2006 第2号』（多言語、全220ページ、七月堂）刊行。

2006年9月、無限責任中間法人となる。

2007年1月、年刊出版『世界俳句2007 第3号』（多言語、全204ページ、七月堂）刊行。

2007年9月、WHAジュニア俳句コンテスト2007開催。

2007年9月14～16日、東京で、第四回世界俳句協会大会開催。12か国からおよそ延270人参加。



2007年9月15日 明治大学 講演



2007年9月16日 水月ホテル磯外荘

2008年1月、年刊出版『世界俳句2008 第4号』（多言語、全230ページ、七月堂）刊行。

2009年1月、年刊出版『世界俳句2009 第5号』（多言語、全198ページ、七月堂）刊行。

2009年9月30日～10月5日、リトアニアのドルスキニンカイとヴィルニユス（欧州文化首都2009）で、第20回ドルスキニンカイ詩の秋と第5回世界俳句協会大会開催。21か国121人参加。



2009年10月1日 リトアニア作家協会ホール 世界俳句協会議



2009年10月2日 ダイナヴァ・センター 俳句朗読

2009年11月、NPO 法人となる。

2010年1月、年刊出版『世界俳句2010 第6号』（多言語、全220ページ、七月堂）刊行。

2010年8月、ハンガリーで開催の、世界俳句フェスティバル・ペーチ2010を支援予定。

2011年9月、第6回世界俳句協会大会を、東京で開催予定。